

プレスリリース

グラスヒュッテ、2025年4月

1815

Never stand still（決して立ち止まらない） – 伝統を受け継いで。

新作モデルの1815は、「Never stand still（決して立ち止まらない）」というブランドの野心をユニークな方法で表現しています。一方では、多くの伝統的な引用によって過去のモデルとの架け橋を築き、他方では、新開発のムーブメントを搭載しています。ホワイトゴールド750とピンクゴールド750の2種類が用意された新作1815は、グラスヒュッテにおける時計製造のパイオニア、フェルディナント・アドルフ・ランゲの完璧を追求する姿勢を設計に反映しています。また、1815 ファミリーの名は、彼の誕生年に因んでいます。



新作1815：ホワイトゴールド 750& ピンクゴールド750

完璧なフォルム

精度、機能性、エレガンスを見事に融合した懐中時計を製作することを目標としていたフェルディナント・アドルフ・ランゲ。その伝統を引き継いだ新作1815は、ピンクゴールド750とホワイトゴールド750の2モデルをご用意。ケースのバランスが優雅で気取らない雰囲気を出

します。ケース径は34.0mm、厚さわずか6.4mmのこのモデルは、クラシックな3針時計で小さなモデルを望む多くの時計愛好家の方々の期待に応えます。エレガントな外観と抜群の着心地により、この1815モデルはビジネスシーンに理想的なパートナーとなるでしょう。エレガントな外観と快適性に優れた着用感によって、この1815モデルはビジネスに理想的なパートナーとなります。

細身でわずかに段差のあるベゼルが、ディテールにこだわってデザインされたダイヤルを縁取っています。レイルウェイ風の分目盛り、アラビア数字、そして6時位置に配置されたスモール秒針は、かつてランゲが名声を誇った懐中時計を想起させます。ブルーのダイヤルを背景に回転するランセット型の針がケースとマッチし、1815のクラシックな雰囲気を高めています。

ホワイトゴールド750にはブルーのレザーベルトが、ピンクゴールド750にはレディッシュブラウンのベルトが付属します。また、美しく磨き上げられたホワイトゴールドまたはピンクゴールドのピンバックルにも高度な職人の技を感じ取ることができます。



新作1815に搭載された自社製キャリバー L152.1

75番目の自社製キャリバー

新たに開発された自社製キャリバー L152.1の美しさは、特徴的なデザインフォルムと伝統的なムーブメントの装飾に代表されるサファイアクリスタルのケースバックから眺めることができます。特にハンドエングレービング入りテンプ受けや、1864年にグラスヒュッテでフェルディナント・アドルフ・ランゲによって導入された4分の3プレートが独特の要素です。際立つムーブメントは、グラスヒュッテストライプで仕上げ装飾がなされ、4つのビス留め式ゴールドシヤトン、軸受けのルビー、職人の手焼きによって青く染められたビスが、カラフルなアクセントを添えます。

新作1815の手巻きムーブメントは、マニュファクチュールの復活以来75番目のキャリバーであり、フリースプリング式ヒゲゼンマイを備えた新しい調速機や大きな自社製チラネジテンプが、72時間のパワーリザーブ全体をとおして最高の精度を約束します。

「新作1815での挑戦は、よりエレガントな比率にしながら、同時にタイムピースのシンプルさと機能性を維持することでした」と、商品開発ディレクターのアントニー・デ・ハスは説明します。「私たちの時計師たちは、より小さなケース径にもかかわらず、パワーリザーブを72時間まで延ばし、テンプを組み入れることにも成功しました。」

A.ランゲ&ゾーネについて

ドレスデン出身の時計師フェルディナント・アドルフ・ランゲは、1845年に時計工房を設立し、ザクセン高級時計産業の礎を築きました。彼が製作した価値の高い懐中時計の数々は、今でも世界中のコレクターたちの垂涎の的となっています。第二次世界大戦後、A.ランゲ&ゾーネは東ドイツ政府により国有化され事実上消滅、一時はその名が人々の記憶から消え去ってしまうかと思われました。しかし1990年、フェルディナント・アドルフ・ランゲの曾孫ウォルター・ランゲがブランドを復活させます。現在では、ゴールドまたはプラチナのケースを使った腕時計を中心に、毎年数千本のみ製作しています。A.ランゲ&ゾーネの全ての時計には、自主開発され、手作業で入念な装飾と二度組みを行ったムーブメントが搭載されています。1990年以降に開発された自社製キャリバーは75個を数え、A.ランゲ&ゾーネは世界でも最高峰の地位を確立しました。その代表作には、一般モデルとして初めてアウトサイズデイトを搭載したランゲ1や、瞬転数字式時刻表示を搭載したツァイトヴェルクがあります。まれに見る複雑機構を搭載するツァイトヴェルク・ミニッツリピーター、ダトグラフ・パーペチュアル・トゥールビヨン、トリブルスブリットは、受け継がれてきた時計作りの技をさらに高めようとするA.ランゲ&ゾーネの真摯な姿勢を体現した時計です。2019年には軽快さとエレガンスが共存するステンレススチール製オデュッセウスを発表し、A.ランゲ&ゾーネの歴史に新たな章を開きました。

プレス窓口

リシュモンジャパン株式会社
A.ランゲ&ゾーネ マーケティング コミュニケーション

電話：03-4572-4520 | Eメール：presse@lange-soehne.com

インターネット

alange-soehne.com | facebook.com/langesoehne | youtube.com/user/alangesoehne
instagram.com/alangesoehne | #alangesoehne | #lange1815 | #neverstandstill | #watchesandwonders2025 | #WWG25

画像ダウンロード

press.alange-soehne.com

1815		
ムーブメント	ランゲ自社製キャリバーL152.1、手巻き、ランゲ最高品質基準準拠、手作業による組立ておよび装飾、五姿勢調整済み、素材の表面を生かした洋銀製のプレートおよび受け、ハンドエングレービングを施したテンプ受け	
ムーブメント部品数	171	
石数	21石	
ビス留め式ゴールドシャトン	4石	
脱進機	アングル脱進機	
調速機	耐震機構付きチラネジテンプ、最高品質の自社製ヒゲゼンマイ、振動数21,600振動/時、スワンネック形バネと側面にある調整用ビスにより微調整可能なビートエラー修正機構	
パワーリザーブ	完全巻上げ状態で72時間	
機能	時、分、ストップセコンド機能搭載スモールセコンドによる時刻表示	
操作系	ゼンマイ巻上げおよび時刻調整用リユーズ	
ムーブメント寸法	直径：28.1 mm、厚さ：2.9 mm	
風防&ケースバック	サファイアクリスタル（モース硬度 9）	
リファレンス	220.028	220.037
ケース	ホワイトゴールド750	ピンクゴールド750
ケース径	直径：34.0 mm 厚さ：6.4 mm	

ダイヤル	シルバー925、ブルー	
針	ゴールド750	
ベルト	手縫いのアリゲーターベルト 、ブルー	手縫いのアリゲーターベル ト、レディッシュブラウン
バックル	ホワイトゴールド750製ピン バックル	ピンクゴールド750製ピンバ ックル